

第 124 回富山大学眼科臨床カンファレンス

—弱視斜視小児眼科講習会—（現地開催のみ）

謹啓 盛夏の候、先生方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第 124 回富山大学眼科臨床カンファレンスを下記の要領で開催いたします。

ご多忙中とは存じますが、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。 謹白

開催日時：令和 8 年 8 月 9 日（日）13：00～15：00

会 場：富山県民会館 611 号

（現地会場のみ、Web 配信はございません）

【参加費について】

富山眼科集談会会員：無料

非会員：2,000 円

プログラム

【現地での講演】

1. 【症例検討・ショートレクチャー】（13：00～14：00）

座長 林 篤志 先生（富山大学眼科学 教授）

症例検討「急性眼球運動制限で紹介された 2 症例の経過と考察」

阿部 慎也 先生（富山大学眼科 診療助手）

ショートレクチャー「見ればわかる・隠せばもっとわかる

問診と遮閉試験から始まる斜視診断」

三原 美晴 先生（富山大学眼科 診療准教授）

2. 【特別講演】（14：00～15：00）

座長 三原 美晴 先生（富山大学眼科 診療准教授）

「子どもの眼のサインを見逃さない

— 弱視の早期発見と眼科診療の役割 —」

林 思音 先生（山形大学医学部眼科 准教授）

*本会は日本眼科学会専門医制度認定事業（事業番号：59127）です。

取得単位数：現地/1 単位です。

*本会は日本医師会生涯教育制度における 2 単位（72）カリキュラムコードを取得

することができます。

主催 富山眼科集談会

【要約】

子どもの眼のサインを見逃さない ―弱視の早期発見と眼科診療の役割―

林 思音 先生

(山形大学医学部眼科学 准教授)

視機能は視覚感受性の高い乳幼児期に発達し、眼疾患や屈折異常があると弱視に至る可能性がある。近年、3歳児眼科健診に屈折検査が導入され、屈折異常弱視や不同視弱視の検出率は向上している。一方で、先天白内障や早期発症の内斜視などは、依然として発見が遅れることがある。低年齢児では自覚的検査が困難であり、嫌悪反応、調節麻痺下屈折検査、前眼部・眼底検査などの他覚的評価が重要となる。フォトスクリーナー、超広角眼底カメラ、そしてスキアスコープを用いた red reflex 法も診断の一助となる。また、red reflex 法は1か月児健康診査マニュアルにも掲載されており、小児科・乳幼児健診での活用が期待される。本講演では、家庭、小児科、健診から眼科診療へつながる発見経路を踏まえ、一般眼科医および視能訓練士が小児の眼のサインを見逃さないための対応について考えたい。